

2024 年 IRC 規則の変更項目

1. レーティング証書締め切り、およびセカンダリー証書

レース主催者への証書提出の締め切りまでに、有効な証書が必要であることを明確にした。また、レース主催者とオーナー共に、セカンダリー証書の使用を宣言する必要があることも明らかにした。

これにより、IRC 規則 8.2 が以下のように変更：

8.2 艇は、レースを行う国で有効な IRC 証書を持たなければならない。艇は、レース公示に基づくレーティング証書提出の締め切り前に、有効な証書をレース主催者に申告しなければならない。艇は、規則 8.2.1 および 8.2.2 で認められる場合を除き、同時に複数の有効な IRC 証書を持つ事はできない。

規則 8.2.1 (c) は以下のように変更：

(c) 艇は、規則 8.2 に基づき、セカンダリー証書の使用を申告しなければならない。

2. オンボードシステムと計器

艇内のアコモデーション、計器およびシステムが完全に使用可能な状態でなければならないことを明確にした。

これにより、IRC 規則 17 は以下のように変更：

17.2 船内生活、食事、睡眠、収納に関わる全てのシステムは、そのシステムが本来提供する機能を果たさなければならない。

3. バラスト

IRC 規則 22.3 (可動バラスト、可変バラスト) で許されているものを除き、RRS 51 にあるように、セールや装備を移動することは、レース公示で変更されていない限り禁じられていることを明確にした。

これにより、IRC 規則 22.3.1 は以下のように変更：

22.3.1 レース中パフォーマンス向上を目的として、セールや装備を移動することは、レース公示で変更できるが、RRS 51 で禁じられている。RRS 51、可動バラスト、および RRS 52、人力、は本クラス規則の要件に従い以下のように変更される：艇は、恒久的に備えられた**可動バラスト**および/もしくは**可変バラスト**を使用しても良く、その場合、レーティングオーソリティーに申告しなければならない。

4. セールの取り付け

ジェノアやスピネーカーの内側にどのようにヘッドセール (ステイスル) を取り付けるかを明確にした。また、IRC はバウスプリットの先端を STL とシアウターリミットを考慮しないので、ERS B.1.4 は適用しないことを示した。

これにより、IRC 規則 21.3 を以下に変更：

21.3 セールのシーティング、バウスプリット、スピネーカー・ポール、ウイスカーポール

21.3.1 ヘッドセール、フライングヘッドセールおよびスピネーカーは**セール**上の 2 ヶ所以上からシーティングすることはできない。

21.3.2 フォアステー (含む) とマストの間に取り付けられたヘッドセールのタックは、艇の中心線上からはずれていてもよいが、シャーラインの内側でなければならない。フォアステーの前に取り付けられたヘッドセールのタックは、IRC 規則 21.3.5 のアーティキュレーティング (左右に振れる) バウスプリットの場合を除いて、艇のほぼ中心線上になければならない。これは、RRS 54 を変更する。

21.3.3 全ての**セール**は、RRS 55 「セールの取り付けと調整」および以下の追加事項に従ってセットしシーティングしなければならない。

21.3.4 RRS 55.3 を変更し、スピネーカー、ヘッドセールおよびフライングヘッドセールは**バウスプリット**にタックをとってよい、とする。ERS B.1.4 は適用しない。

5. ヘッドセールの搭載枚数

現行の IRC は、ヘッドセールの搭載枚数をレーティングに反映しておらず、単に最大エリア (HAS) と最大ヘッドセールラフ長さ (HLUmax) を考慮している。複数ヘッドセールは、次の 2 つのケースで明確な有利性を有する：

- ・コンディションが変化した際のセールワードローブの広い選択範囲
- ・複数のヘッドセールを同時に展開することによるセール面積の増加、特にリーチング時の大型艇。

2024 年のルール改訂で、ヘッドセール搭載枚数をレーティングに考慮することとなった。これはあくまでヘッドセールの搭載枚数であり、同時に展開する数ではない。

これにより、IRC 規則 8.2.1 を以下に変更：

8.2.1 艇は有効なセカンダリー証書を別に保有することができる：

- (a) セカンダリー証書には、その旨が明確に示され、元証書とは、メインセール巾、E、P、ヘッドセール寸法、フライングヘッドセール寸法、シングルファーリングヘッドセール要件、蓄力の使用、SPA、STL、SPL、スピネーカー・ポール/バウスプリット、ウイスキーポール、ヘッドセール搭載数、スピネーカー搭載数、フライングヘッドセール搭載数、アフトリギン、可動バラストの使用、可変バラストの使用、インターナルバラスト、に関してのみ変えることが出来る。

IRC 規則 11.1 および 11.2 を以下に変更：

11.1 ルールオーソリティーの規程もしくはレース公示により、IRC 規則 8.6、9.6、14.1、15.1、15.2(d)、21.1.5(d)(e)(f)、~~21.8.4~~、および、22.4 の要件を変更することが出来る。いかなるルールオーソリティー規程も、当該国 IRC オーナーズ協会（存在する場合）の承認を得なければならない。他の IRC 規則は変更することはできない。

11.2 ルールオーソリティーは、自ら管轄するレースで、OSR カテゴリー3 もしくはそれ以上のカテゴリーを適用する場合、規則 21.7.1 および 21.6.1 を、艇の証書にあるヘッドセールおよび/もしくはスピネーカーの数よりも、レーティングを増やすことなく、HAS、HLUmax、SPA を超えないヘッドセールを 1 枚余分に、および/もしくは、スピネーカーを 1 枚余分に搭載できるように変更する規程を設けることができる。

IRC 規則 21.1.5 を以下に変更する：

21.1.5 以下を除いて、IRC でレースをする場合、搭載するセールの枚数やタイプに制限はない：

- (a) ヘッドセールの枚数 (規則 21.7.1 および 21.8 参照)、スピネーカーの枚数 (規則 21.6.1 参照) および フライングヘッドセールの枚数 (規則 21.7.5 参照) の制限。
- (b) エキゾチックマテリアルを含むセールの制限 (規則 21.2.2 参照)
- ~~(c) シングルファースリングヘッドセールでレーディングを取得した艇のヘッドセール枚数制限。重大なダメージまたはストームやヘビーウェザージブを用いる場合を除いて、1枚のローラーファースリングヘッドセイルを使うことを申告してレーディング・アロワンスを与えられた艇は、どのようなシリーズやレースでも、全てのレースでその同じヘッドセールを使用しなければならない。(規則 21.8.1 参照)~~
- (d) レイデイを含み連続して開催されるレガッタの期間中、搭載するセールは同一のものでなければならない、全てのレースで搭載していなければならない。この規則は、レース公示で変更できる。
- (e) スペアのメインセールは搭載してもよいが、レース中およびレイデイを含み連続して開催されるレガッタ期間中、レース用の代替えとして使用してはならない。この規則は レース公示で変更できる。
- (f) 例外的に、セールが重大な損傷を受けたり損失した場合、そのセールは同様のセールと交換することができる。レース公示により、セールの交換の許可を事前にレース委員会から得ることを要求することができる。この規則はレース公示で変更できる。

IRC 規則 21.7 を以下に変更する：

21.7 ヘッドセールおよびフライングヘッドセール

21.7.1 艇はその艇の IRC 証書にあるヘッドセール搭載数を超えるヘッドセイルをレース中搭載してはならないが、ヘッドセール搭載数から除外されるのは、オフショア・スペシャル・レギュレーションで定義される 1 枚のストームジブおよび/もしくは 1 枚のヘビーウェザージブである。

21.7.2 ヘッドセール面積 (HAS&FSA) は次式により計算する：

$$HSA = 0.0625 * HLU * (4 * HLP + 6 * HHW + 3 * HTW + 2 * HUW + 0.09)$$

$$FSA = 0.0625 * FLU * (4 * FLP + 6 * FHW + 3 * FTW + 2 * FUW + 0.09)$$

いかなるヘッドセールもしくはフライングヘッドセールのフットオフセットが HLP もしくは FLP の 7.5% よりも大きい場合、フットオフセットを申告しなければならない、HSA もしくは FSA の計算で、そのフットオフセットを HLU もしくは FLU に加えなければならない。

21.7.3 以下はレース中搭載されるヘッドセールに適用される。

21.7.2.1 最大面積ヘッドセールの HLU, HLP, HHW, HTW, HUW およびいかなるヘッドセールの HLUmax は申告しなければならない、HSA と共に艇の証書に記載される。HSA および HLUmax は許容される最大値である。

~~**21.7.3** IRC によるレース中は、複数のヘッドセールを同時に展開することができるが、使用するヘッドセールデータは附則 A に従って計測、申告しなければならない。~~

21.7.4 以下はレース中搭載されるフライングヘッドセールに適用される。

21.7.4.1 最大面積フライングヘッドセールの FLU, FLP, FHW, FTW, FUW, FSFL, FSHW は申告しなければならず、FSA と共に艇の証書に記載される。FSA は許容される最大値である。

IRC 規則 21.8 を以下に変更する：

21.8 シングルフアーリングヘッドセール

21.8.1 規則 21.7 の要件に加え、1枚のヘッドセールのみ申告する艇は、シングルフアーリングヘッドセール使用艇としてレーティングを受けることができる。~~シングルローラーフアーリングヘッドセールを使用する艇に対して、レーティング上の優遇処置が与えられる。条件は以下のとおり：~~

- (a) ~~艇は、フアーリングドラムと必要なヘッドスイベルを含み、固定されたフォアステーにある完全に可動するヘッドセールフアーラーを備えていなければならない。艇は、少なくともドラム、フアーリングヘッドフォイル、トップスイベルを含む、完全なヘッドセール・フアーリングシステムを装備していなければならない。~~
- (b) レーティング計算上の HLP 値は 1.3*J 以上でなければならない。例外として、30.5m を越える LH、および、60 を超える IRC DLR のボートにこの規則は適用されない。
- ~~(c) レース中は、レーティング計算上の HSA の 95%以上の面積を持つ1枚のヘッドセールのみを使用しなければならない。ただし、これに替えて、1枚のストーム・ジブ (付則 1 を参照のこと) を使用することができる。~~
- (c) レース中は、レーティング計算上の HSA の 95%以上の面積を持つヘッドセールのみを使用しなければならない (規則 11.2 で認められる余分なヘッドセールは含まれる)。ただし、これに替えて、1枚のヘビーウェザージブもしくはストームジブを使用することができる。

~~21.8.2 艇はヘビーウェザージブ (付則 1、IRC 計測定義と略語を参照) を使用する旨の申告を行なうことができるが、規則 21.8.1(a)および(b)に従うことが条件となり、優遇措置の割合は減少する。~~

~~21.8.3 重大なダメージや、ストームジブおよび/またはヘビーウェザージブが適切と思われる場合を除いて、どのようなシリーズレースにおいても、全てのレースに、同一のヘッドセールを使用しなければならない。~~

21.8.2 規則 21.1.5(f)で認められる場合を除き、シリーズレースにおける全てのレースで、同一のシングルフアーリングヘッドセールを使用しなければならない。

21.8.3 一枚のスペア他のどのようなヘッドセールを搭載してもよいが、レースでの代替用として使ってはならない。この規則はレース公示で変更できる。

6. エンドースドセールスタンプ

I R C エンドースド証書のために計測されたセールに、セール計測スタンプを押すことが義務付けられる。これは、競技者に正しい最大セールを特定して、大会のイクイップメントインスペクターのセールチェックを容易にするためのもの。

I R C 規則 21.4 が追加された：

21.4 エンドースド証書として 2023 年以降申告され搭載される全てのセールは、I R C 計測値とセールエリアの記載のある計測ステッカーもしくはスタンプを持たなければならない。スタンプはセールのヘッドに押されるが、ヘッドが確認し難いセールの場合（ファーリングセール等）、クリューに押ししてもよい。計測は I R C ルールオーソリティー、MNA もしくはインハウス公認メジャーの承認を得た公式メジャーにより行わなければならない。本規則は、レース公示もしくはルールオーソリティーが変更できる。

7. セール — 一般定義

I R C 規則内で“ヘビーウェザージブ”の用語を使用することを反映して、I R C 定義 A 5 を以下のように変更する：

A 5 セール — 一般

~~HW J ————— ヘビーウェザージブ。OSR 4.26 節を参照。~~

ヘビーウェザージブ OSR 4.26 節を参照。

8. メインセール定義

I R C規則 21.5.2 の解釈により、艇がメインセールの最大幅を超えない幅内で異なる比率の異なるメインセールを使用できることを踏まえ、I R C定義A 7を以下に変更する：

A 7 セール — メインセール

MHW	メインセールの1/2幅。 メインセールの許容最大1/2幅。
MTW	メインセールの3/4幅。 メインセールの許容最大3/4幅。
MUW	メインセールの7/8幅。 メインセールの許容最大7/8幅。

9. フライイングヘッドセール定義

フライイングヘッドセールのデザインレンジを広げることで、セーラーとデザイナーにとって、よりフレキシブルな運用を可能にする。

A 5 セール — 一般

フライイングヘッドセール ERS G.1.3(d)は適用しない。フォアステーの前方にタックを取り付けフライングで展開され、スピネーカーの定義を満たさないセールでバテンを持たず、フット長さの60%~~62.5%~~以上の1/2幅（スピネーカーとして計測）を持つセール。フライングヘッドセールはSTLFHmaxを超えず、例外として申告されたアーティキュレーション（左右振り可能な）バウスプリットの場合を除き、艇のほぼセンターライン上にタックを取らなければならない。フライングヘッドセールは完全にファールしてもよいが、レース中リーフすることはできない。